

戯作者馬琴の伝記、ならびに貴重な資料を収録。



# 馬琴研究資料集成

服部 仁編・解説  
全七卷

クレス出版

刊行にあたって

服部 仁

曲亭馬琴の研究資料集成を出版するのはこびととなった。馬琴については、まずその呼称に関して述べるべきであろう。夙に三田村鳶魚が、「明治時代合巻の外観」(『早稲田文学』大正十四年三月初出)の中で述べているように、「滝沢馬琴」という言い方がいかに違例であるかということ強く認識すべきであろう。さらに付け加えるならば、滝沢馬琴という呼び方は、戯号山東京伝、本名岩瀬醒を岩瀬京伝と呼び、戯号柳亭種彦、称高屋彦四郎を高屋種彦と呼び、戯号式亭三馬、姓名菊地泰輔を菊地三馬と呼ぶようなものである。くどいくらいに例を挙げたのは、「滝沢馬琴」という言い方が、どれほど異常であるかを理解していただきたかったからである。馬琴は、戯号曲亭馬琴、本姓名滝沢解(瑣吉)と呼ぶべきである。

さて、馬琴の研究資料集成ということになると、早稲田大学図書館所蔵の曲亭叢書は外せない。何分膨大なものであるし、馬琴の友人が馬琴の戯作の評をしたり疑問を尋ね、それに対して馬琴が答えるといういわゆる評答とか、『南総里見八犬伝』の稿本などは、既に『早稲田大学蔵資料影印叢書』に入っている。『異聞雑稿』のみ入れることとした。また馬琴の読本の多くは『馬琴中編読本集成』全十六巻に、馬琴書翰の大部分は『馬琴書翰集成』全七巻に収められているので、これまた省くこととした。

第一巻から第二巻の麻生磯次『滝沢馬琴』までは、戦前までに出版された馬琴の伝記と、それにまつわる逸話を収録した。第二巻末尾の「馬琴の読本に及せる支那文学の影響」は、石崎又造『支那俗語文学史』と共に早い時期の最高の研究水準である。第三、四巻は、『曲亭遺稿』と称するもの及び『曲亭雑記』を収録した。『曲亭雑記』は、第五巻の『自撰自集雑稿』と意味的には重なる。第五巻は、馬琴が書き残した私的な意味合いの濃いものを収録した。『篋笠雨談』と『鞆旅漫録』は、合わせて馬琴の鞆旅漫録の旅の記となるものである。第六、七巻は今までほとんど紹介されていない「八犬伝」関係の演劇資料を収録した。以上七巻を、今後の馬琴研究の発展に寄与することを願って、ここに上梓する。

(はっとりひとし・同朋大学教授)

第一巻

神史小伝(奇文観止 本朝虞初新誌) 菊池純著 吉川半七 明治16年  
文化文政度の小説家 饗庭 篁村著 史海 明治25年  
馬琴の手紙并殿村篠斎父子 赤堀又次郎著 帝国文学 明治29年  
殿村安守と常久と 岩橋小弥太著 わか竹 大正6年  
京伝と馬琴 黒頭巾著 黒潮 大正6年  
曲亭馬琴の生活(史話俗談) 関根 正直著 国民図書 大正9年  
随筆滝沢馬琴 真山 青果著 サイレン社 昭和10年

第二巻

馬琴読本(馬琴・北斎・芭蕉) 宇野 浩二著 小学館 昭和18年  
滝沢馬琴 麻生 磯次著 三省堂 昭和18年  
馬琴の読本に及せる支那文学の影響(江戸文学と中国文学)第三章 麻生 磯次著 三省堂 昭和21年

第三巻

曲亭遺稿 全 国書刊行会 明治44年  
曲亭遺稿 附馬琴行状記 松村 操編 思誠堂 明治16年

第四巻

曲亭雑記 渥美正幹編 吉川半七 明治21、22年

第五巻

自撰自集雑稿(静嘉堂文庫蔵) 享和4年  
篋笠雨談 初(前)編(服部仁氏蔵) 畏三堂 明治18年  
鞆旅漫録 異聞雑稿(早稲田大学図書館蔵) 畏三堂 明治18年

第六巻

南窓里見八犬士伝 花魁咎八総(服部仁氏蔵) 天保7、8年  
絵番付 一点、科白本 二点 服部 仁著 同朋大学論叢 昭和54年

第七巻

花魁咎八総 中芝居二替り新狂言(大阪府立中之島図書館蔵) 天保7年

自撰自集雑稿狂歌第四

篋笠雨談

おのゝこゝろは雨の音に似たり 福の仙傳のあそびのついでに  
うらなひもれぬ ちかきちかき ちかきちかき ちかきちかき  
ちかきちかき ちかきちかき ちかきちかき ちかきちかき  
ちかきちかき ちかきちかき ちかきちかき ちかきちかき  
ちかきちかき ちかきちかき ちかきちかき ちかきちかき  
ちかきちかき ちかきちかき ちかきちかき ちかきちかき  
ちかきちかき ちかきちかき ちかきちかき ちかきちかき  
ちかきちかき ちかきちかき ちかきちかき ちかきちかき



第七巻 花魁咎八総

一歌

スリヤははるまじ及ぶ成るふくなく 病鳥のうら  
とふハテ長病でるさう

一又  
一か  
一陽

コリヤ 情を河原の便がたふてん  
ハ、ハツ 下はあつちくさつと下はあつち  
スリヤははるまじ及ぶ成るふくなく 病鳥のうら



第五巻 自撰自集雑稿

# 馬琴研究資料集成 全七巻

服部 仁(同朋大学教授) 編・解説

第一巻 随筆滝沢馬琴 ほか

第二巻 滝沢馬琴 ほか

第三巻 曲亭遺稿

第四巻 曲亭雑記

第五巻 自撰自集雑稿 ほか

第六巻 南窓里見八犬士伝 花魁荅八総

第七巻 花魁荅八総

A 5判/上製函入/クロス装 平成19年6月末日刊行  
揃定価82,000円(税別) ISBN978-4-87733-375-1(セット)

## ●クレス出版好評既刊書●

### 仮名草子研究叢書

全8巻/深沢秋男・菊池真一編・解説

「仮名草子」の命名者、水谷不倒の『近世 列伝小説史』をはじめとして、明治末から昭和戦後初期までの仮名草子研究に必要な雑誌論文、単行本収録文献を年代順に収録。明治以来の研究を振り返り、巨視的な観点から仮名草子を見直すべく編集。

A 5判/揃定価本体85,000円 ISBN4-87733-315-0

### 草双紙研究資料叢書

全八巻/中村正明編・解説

草双紙研究の初期を通観できるように編集。

①②草双紙研究 ③文学史抄 ④解説・解題類  
⑤雑誌論文集 ⑥翻刻・注釈集 ⑦書目  
⑧草双紙・草双紙評判記

A 5判/揃定価本体95,000円 ISBN4-87733-325-8

### 西鶴研究資料集成

全8巻/竹野静雄監修・解題

明治5年7月から、大正期に企画された叢書の下限(昭和3年5月)までの井原西鶴にかかわる作家論、作品論・解題、随想、文学史、著作年表、教科書、世相・風俗考証、辞典その他の資料467点を発表順に収録、最終巻に「執筆者索引」を付す。

A 5判/揃定価本体126,000円 ISBN4-906330-87-8,88-6

### 西鶴研究

全四巻/西鶴学会編 竹野静雄解説

西鶴文学を、文学は勿論、言語・文化・風俗・経済その他あらゆる部門より究明せんとする純学術研究機関誌。西鶴に関する新資料を掲載し、西鶴に関する学会・文献・出版その他彙報の記事を網羅し、西鶴年鑑の役割も果たす。昭和17、18、23~32年。

B 5判/揃定価本体95,000円 ISBN4-87733-131-X

### 秋成研究資料集成

全12巻/近衛典子監修・解題

昭和30年代頃までに刊行された上田秋成の伝記研究書、論文および『雨月物語』、『春雨物語』の注釈書、研究書とともに、小説論文、和歌・俳諧・国学・茶道その他についての論文、雑誌特輯号を収録。

A 5判/揃定価本体95,000円 ISBN4-87733-170-0

### 蕉門研究資料集成

全八巻/佐藤勝明編・解説

俳諧という文芸の本質を明らかにするために、また芭蕉という存在の独自性と普遍性を見極めるためにも蕉門研究・俳壇研究は必要である。蕉門に関する昭和30年代までに刊行された基本的文献を復刻。

A 5判/揃定価本体95,000円 ISBN4-87733-239-1

### 藤井乙男著作集

全9巻/竹野静雄編・監修

日本文学の全分野に亘る膨大な著作を編集復刻。

①江戸文学研究 ②江戸文学叢説 ③史話俳談 ④文学史  
⑤俳諧研究 ⑥伝記・芸能 ⑦ことわざ研究 ⑧解説・解題集  
⑨書評・序文・雑纂/国語便覧

A 5判/揃定価本体114,000円 ISBN978-4-87733-360-7

### 若月保治浄瑠璃著作集

全7巻/秋本鈴史・和田修・林久美子・阪口弘之解説

本来英文学者であった若月保治の浄瑠璃に関する著作を集成。

①近松人形浄瑠璃の研究 定価本体22,000円  
②人形浄瑠璃史研究一人形浄瑠璃三百年史 定価本体25,000円  
③近世初期国劇の研究 定価本体13,000円  
④古浄瑠璃の研究 全四巻 揃定価本体95,000円

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 ヌロ一ナ日本橋  
☎03-3808-1821 ☎03-3808-1822 <http://www.kress-jp.com/>

 株式会社クレス出版

●書店名